

諫早神社 令和六年のご報告



1 2 3 1 大きさ日本一の「開運お多福ぐり」は
4 5 6 全国ニュースにも／2 建国記念日、日本
7 8 9 の誕生日を、みんなでお祝います／3
県内唯一の本式の流鏝馬「春のやぶさめ」／4 三つの茅の輪をくぐる「三々九度祓い」で厄落とし／5 他どこにもない「白い陶器の三柱鳥居」が完成／6 茶道の皆様のご奉仕によるお茶のお振る舞い／7 子ども神輿の渡御が約百年ぶりに復活／8 11月「くすのきまるしえ」で、迫力の書のパフォーマンス／9 奉納石碑「たけくらべ」は新たに誕生したフオトスポット

現代を生きる皆様に、神社のご加護が届き、お一人お一人の日々が、さらに豊かで明るいものになることを心から願っています。

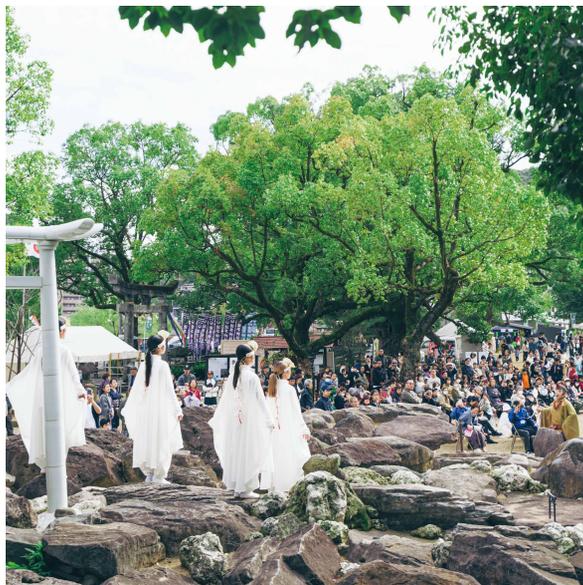
また、観光庁から支援を受けて、新たな取り組みも始まりました。神社だからこそできる伝統と革新の融合を通じて、日本文化の魅力を未来へとつなげてまいります。

このたび、二年前から進めていた「白い陶器の三柱鳥居」が、ついにその優美な姿を現しました。製作は困難を極めました。各分野の専門家、熟練職人の知恵、そして先端技術が組み合わさったことで、ようやく完成に至りました。

諫早神社は、令和7年（2025年）で、創建1297年を迎えます。その悠久の歴史を今に受け継ぎながら、神社として取り組んでいる地域の魅力を高める行事や、日本文化を楽しく体験できる機会を通じて、にぎやかで、いきいきとした空気を感じていただくと幸いです。

宮司メッセージ

観光庁から採択された神前演劇が誕生
舞台「^{し め ん か ぐ ら}四面神楽～日本を守った風の物語～」



諫早神社の公式SNSで
日々ご加護を
お届けしています

おかげさまで、Instagram
フォロワーが15,000人を突破!!

QRコードより
公式ウェブサイトや
SNSなどに
アクセスできます。



全国の神社で唯一

観光庁

Japan Tourism Agency



九州総守護 四面宮
諫早神社

これから毎年11月23日に開催される「くすのきまるしえ」にて披露される予定です。ぜひお楽しみください。

この取り組みにより、諫早神社の御神徳が国内外へと発信されることで、地域の魅力、日本の文化的価値が高まっていくことが期待されています。

この演劇は、観光庁から採択されたもので、地域の新たな価値を創出するコンテンツとして制作されました。神社として観光庁の事業に採択されたのは、全国で唯一、諫早神社だけです。

諫早神社のご祭神へ九州の守り神へが、元寇の際に日本を守ったという神話を原作とした演劇が、令和6年11月23日、諫早神社の収穫感謝祭「くすのきまるしえ」で初お披露目されました。